

## 経済指標ウォッチャー

# 5月米国CPI 伸び率が再び上昇し、ピークを超えたとの見方が後退

## 3カ月連続で前年同月比8%を超える上昇

### 消費者物価指数 (CPI) とは？

CPIとは消費者が実際に購入する段階の、輸送・食品・医療などの消費財やサービスの価格（物価）の変動を表す指数。CPIの項目、構成比、算出方法には国ごとに違いがある。米国では労働省が毎月中旬ごろに公表する。物価変動の基調をみるために価格変動の大きい項目を除いたコアCPIが重視されることが多い。米国ではCPIからエネルギーと食品を除いて、コアCPIが算出される。

(参考：日本ではCPIから食品を除いてコアCPIが算出される)

### CPIは前年同月比8.6%上昇

10日に米労働省が発表した5月のCPIは前年同月比+8.6%(市場予想：同+8.3%)となり、4月の同+8.3%から再び上昇し、1981年12月以来、40年5カ月ぶりの高い伸び率となりました。足元の物価動向を反映する傾向があると言われる前月比も+1.0%と4月の同+0.3%から大幅に上昇しています。変動の大きいエネルギーと食品を除いたコアCPIは前年同月比+6.0%と市場予想の同+5.9%を上回ったものの、前月の同+6.2%から伸び率が低下しました(図表1)。

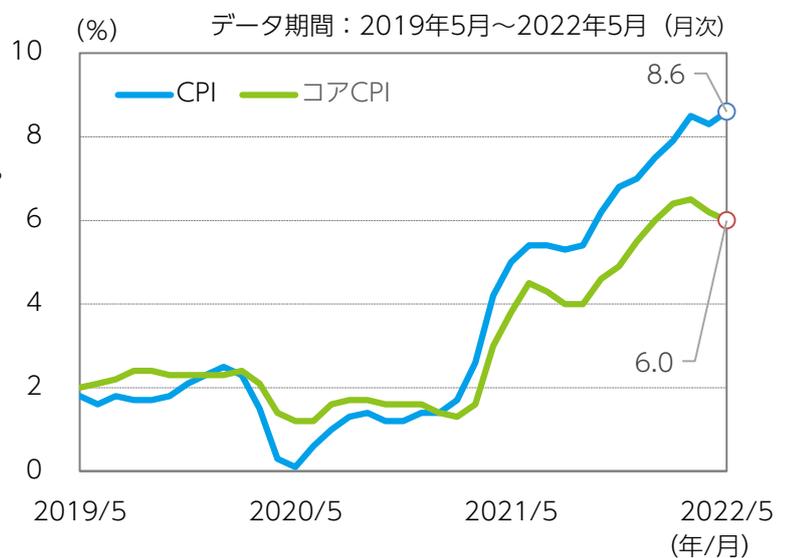
米国自動車協会が公表するガソリン価格が1ガロン(約3.785リットル)あたり5ドルを超えるなど燃料費の高騰が続いていることがCPIの伸び率を再び上昇させた要因とみられます。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化などの影響からガソリン価格は高止まりすると見られており、市場で増えつつあったCPIはピークを超えたとの見方は後退したようです。

### 政策金利は年末に3.00~3.25%との見方も

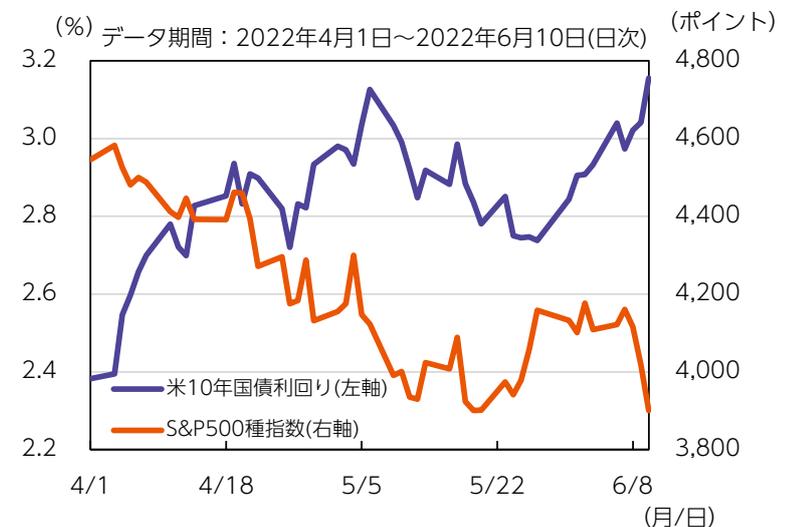
5月CPIは前月から再び伸び率が上昇したことから、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げペースがさらに加速するとの懸念が強まり、株価は大幅に下落、米10年国債利回りは大幅に上昇(価格は下落)しました(図表2)。インフレ率(CPI)はFRBが目標としている前年同月比+2.0%の水準を15カ月連続で上回っています。今回の結果を受けてFRBが6月、7月、9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.5%の利上げを実施し、2022年末の政策金利は3.00%~3.25%になる、との見方が増えつつあります。

米国ミシガン大学が10日発表した消費者信頼感指数が統計をさかのぼることができる1952年11月からの約70年間で最低となるなど、高いインフレ率が消費者心理を冷やしていると思われる。11月に中間選挙を控え、支持率低迷に悩む民主党政権にとって、インフレ率の抑制は引き続き最重要課題の一つとなるものと思われる。

図表1：米国のCPIとコアCPIの推移



図表2：米国の株価と長期金利の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>